

コロナなんて吹き飛ばせ！

～逆境こそチャンス ビジネスに社会に新風を～

女子大初のMBA（Master of Business Administration in Social Entrepreneurship）が取得できる専門職大学院「社会起業研究科」を、相模女子大学は2020年4月に開設しました。実務経験豊富な教員と多様な分野のアドバイザーをそろえ、地域や社会の課題をビジネスで解決する実践的なノウハウが学べます（男女共学）。その特長を広く多くの方々に知っていただきたく、「社会起業研究科」の専任教員とゲストスピーカーによる、『今』を見つめる講座を3回シリーズで開催します。withコロナ、afterコロナの社会をどう前向きに形作っていくのか。みなさまと一緒に考えたく、ぜひ沢山のご参加をお待ちしております。

日 程

第1回 9月10日（木）19：00～21：00 ー終了ー
第2回 10月24日（土）17：30～19：00 ー終了ー
第3回 11月15日（日）15：00～16：30

開催方法

オンライン配信または特設会場での視聴
特設会場：相模女子大学 夢をかなえるセンター4階ガーデンホール

参加費

無料

申込方法

専用フォームよりお申し込みください。
申込フォーム ▶ <https://forms.gle/uRJoFjsAn11kDFMG8>
お申込みいただいた後、ZoomアクセスのURLをお送りします。



申込専用フォーム

第1回 コロナ禍で大打撃！地方の起業家 女将の今 ～通年観光への挑戦～

第2回 14歳からホームレス問題に向き合ってきた川口加奈さんが見つけた「働くこと」の意味

第3回 コロナ禍で観光はどうなる？ 旅は非日常のヒトモノコトに出会うツール
11月15日（日）15時～16時30分（特設会場受付14時30分～）

<講師> 小林 裕和（社会起業研究科・大学院特任教授）
中尾 有希（旅行会社系シンクタンク）

第3回のテーマは、地球上がコロナ禍で混沌とする中、私たち一人ひとりはどう生きるのか。堅い理系の建築学生からバックパッカーへ。そして日系大手、外資系、海外NP0、正社員数人のベンチャーまで経験し、現在は旅行会社系シンクタンクで調査・マーケティング業務を行っている中尾さんが、旅という非日常でのヒトモノコトから、どんなヒントを得て、自分の日常に反映させ、選択を重ねてきたのか。先の見えない時代だからこそ、自分らしく生きるヒントを考えます。

司会進行：九里徳泰（社会起業研究科・教授）